

夏のいひとこよ

豊橋・障害ある子らが絵付け

涼しげな音色を響かせる風鈴。「笑顔を忘れないように」「てすとで百点をとりたい」などどつづられた短冊がそよぐ。

豊橋市障害者福祉会

館さくらピア（東新町）のロビー。十二日まで、障害のある地元の子たちが絵付けをした三百個の風鈴が飾られている。



色とりどりの風鈴が奏でる音色を楽しむ利用者＝豊橋市東新町のさくらピアで

300の風鈴 涼しげ

旭、八町、向山の三小学校の特別支援学級に通う児童や会館の利用者が、素焼きの陶器の風鈴にペンや絵の具で絵付けをし、願い事を書いた短冊を結び付けた。

企画した本田栄子さん(五七)は「障害の垣根を越えて、皆が同じように楽しめれば」と語る。

(岡本真穂)

平成 27 年度 7 月 9 日 (木)

中日新聞 朝刊